

相生 ^{デイ} サービス新聞

発行所
相生DS
44-4165



植付けを待つばかり

田に張り水た水が鏡のようになって
ふるさとの山を写しています。
いよいよ田植えの季節になりました。

農家の人の

大変さを想像し
ながらも美しい
風景に見入って
しまいます。

名句

鮎の香や

膳の上なる千曲川

東洋城



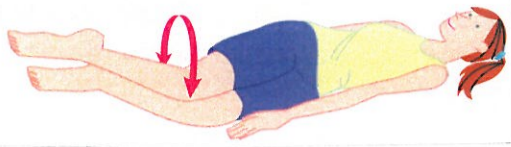
「虞美人草」昭和14年 児島善三郎

— 今月の予定 —

27 (土)	24 (水)	23 (火)	20 (土)	15 (月)	11 (木)
鶴貝カラオケ 愛好会	藤美会	音楽(小林様)	野州小桜	習字	ふさこいホバイ

床屋
さん
1 (月)
10 (水)
18 (木)
26 (金)

簡単セルフケア
疲れた腰に!



両足を閉じて、膝を立て
左足に揺らします。



10日は
時の記念日

月「眠っている間に
夢みている間に
時は過ぎてゆく…」

衣替え

和服の習慣では
6月にならないと
単衣(ひとえ)は着ません。
10月になったら袷(あわせ)
を着ます。



? おみやげ
買ってきました。

- | | |
|-----|-------|
| 北海道 | カッオ節 |
| 和歌山 | 丹波黒豆 |
| 兵庫 | いも焼酎 |
| 高知 | 昆布 |
| 鹿児島 | みなべ梅干 |

子供の頃、
裸足で水田の中に
「めるめると
くすぐったく
くすぐったく」

「簡単だよ、三匹は
ビールかんにとまっていた
し、二匹は鏡の上を
はってたんだ」
「どうしてわかるの」
「三匹がオスで二匹が
メスだよ」
「お母さん、ハエを五匹も
捕ったよ」
「そう、ありがとう」
「武蔵の国の
昔の面影を
残して水田が
広がっている。
小川の流れる
先にヨシ原の
湿原があつて
中にはあやめ
が群生して
いた。
街の喧嘩から
のがれ静かに
咲いている。
水があらさき
色にゆれてい
る。
時折、ヨシが風
にざめいた。
幾種類かの鳥
の声も空に聞
こえた。
のどかな。
まこと
のどかな。
なにも無い、静
かな田園風景。
この時季、
一度はおどろる
私の好きなの
場所である」

天声珍語

「武蔵の国の
昔の面影を
残して水田が
広がっている。
小川の流れる
先にヨシ原の
湿原があつて
中にはあやめ
が群生して
いた。
街の喧嘩から
のがれ静かに
咲いている。
水があらさき
色にゆれてい
る。
時折、ヨシが風
にざめいた。
幾種類かの鳥
の声も空に聞
こえた。
のどかな。
まこと
のどかな。
なにも無い、静
かな田園風景。
この時季、
一度はおどろる
私の好きなの
場所である」